

一般質問

山口
議員

○農業振興の現状と今後の対策について

質 昨年は過去最悪の米価下落の年だった。農家の耕作意欲が薄れ、耕作放棄地が増えるのではないかと懸念する。米価下落対策はあったのか。

答 国の緊急対策として収入減少を緩和するための交付金等の支給と資金面での無利子融資や償還金猶予のほか稲作農家の体質強化を図るための諸対策が講じられました。

質 国において農政の大改革が示されています。農業基盤の強化策として経営規模の拡大が基本とされています。その内容を伺いたい。

答 担い手への農地の集積集約、地域振興作物の支援と米政策の見直し、これまでの各種直接支払制度等を一本化した制度の創設などが掲げられております。

質 中山間地の多い本市において規模拡大には限界があり耕作放棄地が増加するのではないかと。本市の農業をどのように進めていく考えですか。

答 農地の条件に見合った集落的経営の園芸とか畜産等を経営の柱に移していくなど、国の制度等を有効に

活用して農業農村地域の振興、活性化に取り組んでまいります。

質 市内のライスセンターは老朽化が著しい。農協との協議はどのようにされていますか。

答 市内にある施設は全て30年近く経ち老朽化により年々修繕費も増加し、利用減少から収入も悪化していることから、農協としては統合等を検討中と伺っています。

○新潟県大橋建設に向けて

質 大橋建設に向けて調査が行われ、リーフレットが作成されている。どのように活用されるのか。

答 国や県等への要望活動を行う際の説明資料として活用します。

質 期成会は早期実現に向けて独自で看板の作成を進められている。市も早急に作成し、市の姿勢を示すべきではないか。

答 期成会と市が連携して取り組みを行わなければならない。看板についても期成会と市の連名のものを立てるということで協議を進めたい。

質 県の事業計画に掲げてもらうためには、市が主体となって要望活動を展開しなければ県は動かないと思う。どう考えているのか伺いたい。

答 まずは地域の皆さんが先頭に立って取り組まれる方が運動効果は大きいと思います。市としても連携して要望活動を進めます。

一般質問

久枝
議員

○松浦市歴史資料館建設について

質 旧松浦市にも歴史資料等を一堂にまとめた資料館の整備が必要だと考えます。市内には、鷹島神崎遺跡とは別に、故石橋力雄先生や金子武巧先生による歴史資料、調川資料館に展示してある炭鉱時代の写真や昔の農機具など数え上げられないほどあります。大切な資料が分散したりなくなったりしないうちに資料館をつくるべきだと思えますがどうか。

答 歴史資料等が散在していると学習や観覧に不便です。まとめて収蔵できる施設の設置がいいのではないかと思います。神崎遺跡の資料展示施設構想と併せて検討します。

質 鷹島神崎遺跡に係る国立博物館構想は、元寇の遺物等に特化すべきと考えるがどうか。

答 元寇と松浦党の歴史背景を核にした博物館の建設が現在の構想です。本土地区と鷹島地区に資料館を設け、資料を巡回して展示するなど様々な手法があるかと思われます。

質 歴史資料館建設に取りかかったらどうか。

答 ご指摘の点も踏まえその具現化については検討の時間を頂きたい。

○志佐地区洪水対策事業について

質 洪水対策で掲げる公共下水道事業と現在進めている公共下水道事業との違いは何か。

答 現在実施中の公共下水道事業は生活雑排水やし尿の汚水を処理する施設整備を行っているもので、洪水対策における公共下水道整備は雨水等による市街地の被害を防ぐための対策として行うものです。

質 都市計画決定とはどんな手続きか。

答 都市計画法に基づき公聴会、説明会、審議会の審査等を経て知事の同意が得られれば決定となり、その後事業認可の手続きを行います。

質 事業認可取得と補助金との関連はあるのか。補助金の率は何パーセントか。

答 事業の認可が得られないと補助事業の対象にはなりません。補助率5割の社会資本総合整備交付金を想定しています。

質 洪水対策の手法とエリアはどうなっているのか。

答 志佐地区の市街地を対象とし、都市下水路の上流部に調整池や排水ポンプの設置による工法を検討しています。

質 予測される年間の維持費は幾らか。

答 現在点ではお示しできる状況にはありません。

質 下高野地区の天久保池を扱う可能性はあるのか。

答 貯水機能を持たせる施設として検討中です。